

化 学 授 業 指 導 計 画

授業者

- 1 日 時 令和6年2月16日(金) 5限
- 2 実施場所 化学室(南館1階)
- 3 H R 23HR
- 4 生徒観 活発な生徒が多く、ペアワークやグループワークに前向きに取り組む。一方で、身のまわりの現象や物質に、自ら興味を持って調べたりする生徒は少ない。実験を通して、化学に興味を持たせ主体的に学習する生徒を育成したい。
- 5 単 元 硫黄とその化合物
- 6 本時の目標 硫黄の同素体の性質について、結合の違いにふれながら考察させることで、科学的な思考力を育成する。また、グループで実験を行わせることによって協働力を養う。
- 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導 入 (5分)	・ 硫黄の同素体について復習する。	
展開1 (20分)	・ ガスバーナーの使用方法を確認する。 ・ 実験手順を説明後、各班で実験させる。	・ ガスバーナーの使用方法を実際に演示し、正しくガスバーナーを使用するようにする。 ・ 色の変化に着目しながら実験させる。
展開2 (15分)	・ 合成した硫黄の同素体をスケッチや写真で記録させる。	・ 同素体の形状の違いや弾性の違いに着目させる。
まとめ (5分)	・ 本時のまとめを行う。	

※SSHに係る目標

- 「グローバルな視点に立ち、科学的によって思考力によって課題を発見する能力の育成」
- 「他者との協働により、課題を解決する行動力・コミュニケーション能力の育成」
- 「未来につながる新しい価値観を創造する力の育成」